

S-CAREMATE NEWS RELEASE

連絡先： 経営企画部 村上
電話： (03) 5823-5911ニュースリリース
2017年 5月 29日 13:00

総務省「IoT サービス創出支援事業」に参画します

株式会社エスケアメイト(本社/東京都台東区、代表取締役社長/柳沼義輝、スズケングループ)は、総務省が実施する「IoTサービス創出支援事業」に係る委託先候補に選定された株式会社カナミックネットワーク(本社/東京都渋谷区、代表取締役社長/山本拓真)の実証事業にコンソーシアムメンバーとして参画する運びとなりました。参画時期は、平成29年4月1日から平成30年3月31日です。

同事業では、人感センサーなど、IT技術を活用したご利用者の見守りを実施し、生活リズムや健康状態に関するデータを収集します。収集したデータを元に、ご利用者の睡眠不足や転倒、急変などの諸問題を予防し、早期対応に繋げるとともに、電子データを活用した記録の自動化や介護従事者のケア活動の効率化を図り、業務負担を軽減することを目的としています。将来的には、集積したデータを分析して、より適正なケアの提供や医業側との連携に役立てたいと考えています。

【エスケアメイトの取組み】

エスケアメイトでは介護施設をご利用されているお客様の居室にセンサー機器を導入し、実際に活動状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床等)のデータを収集します。収集されたデータを分析・活用することで、お客様に対するサービスを向上させるとともに、データの自動記録や離床されたお客様を事前に把握し、転倒予防に役立てる等、介護職員の業務負担を軽減する取組みも行います。

【IoTサービス創出支援事業概要】

本事業は、情報通信審議会の「IoT/ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方について第二次中間答申」(平成28年7月7日)において提言された、データ利活用を促進するモデルを構築するとともに、必要なルールの明確化等を行うことを目的とした事業です。

具体的には、地方公共団体、大学、ユーザー企業等から成る地域の主体が、生活に身近な分野におけるIoTサービスの実証事業に取り組み、克服すべき課題を特定し、その解決に資するリファレンス(参照)モデルを構築するとともに、データ利活用の促進等に必要なルールの明確化等を行うものです。

「IoTサービス創出支援事業報道資料」URL⇒

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu02_02000162.html